

環境アセスメント学会

2019年度 第18回大会プログラム

日程 2019年9月7日（土）、8日（日）

会場 大阪市立大学杉本キャンパス 学術情報総合センター10階 大会議室

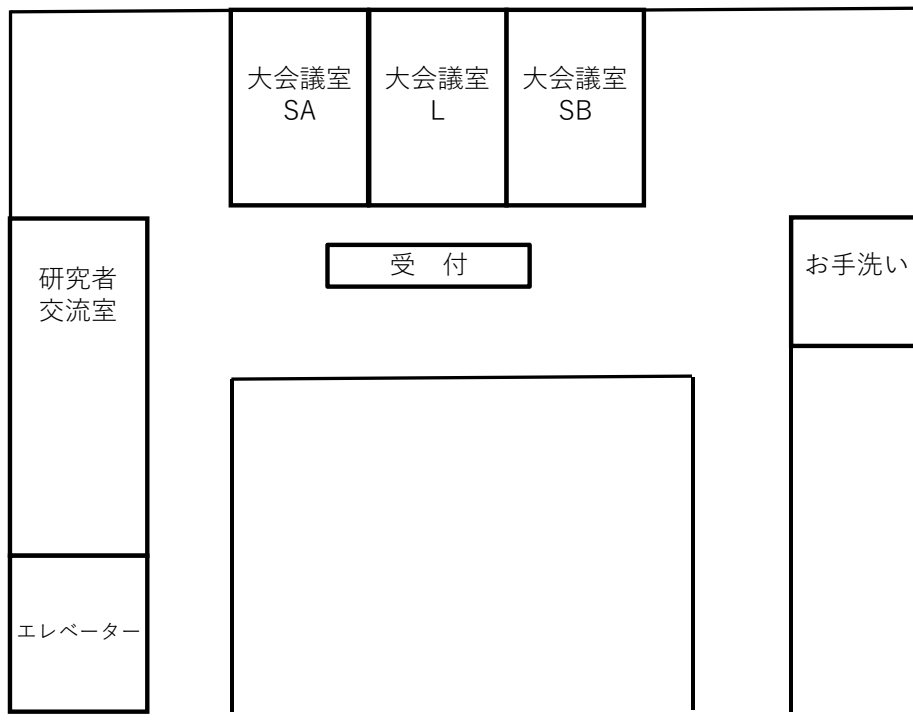
大会スケジュール・プログラム概要

大会1日目（9月7日、土曜日）

午前	9:00- 大会受付 (10階ロビー)	
	9:40-11:00 (大会議室SA) 一般研究発表 セッション1 「政策・制度」 4件	9:40-11:00 (大会議室L) 一般研究発表 セッション3 「国際」 4件
	11:10-12:10 (大会議室SA) 一般研究発表 セッション2 「自然環境①」 3件	11:10-12:10 (大会議室L) 一般研究発表 セッション4 「再生可能エネルギー①」 3件
午後	12:15-12:45 ポスターセッション・コアタイム (大会議室SB) (ポスター、技術展示は9月7日10:00～9月8日12:00) *ポスター及び技術展示は9月7日10時までに掲示・展示、9月8日12時までに撤去	
	12:50-13:30 昼食	12:50-13:20 理事会 (研究者交流室)
	13:30-13:45 開会式 (大会議室SA & L) 開会挨拶 田中充 (学会長)	
	13:45-16:40 企画委員会・大会実行委員会共催シンポジウム (大会議室SA & L) テーマ「湾岸未来都市のあるべき環境像を模索する」 ・司会進行：宮下一明 (学会大会担当理事/㈱東京久栄) (1) 趣旨説明 【13:45～13:50】(5分) 重松孝昌 (大会実行委員長/大阪市立大学大学院教授) (2) 報告 【13:50～15:30】(各20分) ・「ローカルSEGs：私たちのまちにとってのSDGs」 川久保俊 (法政大学デザイン工学部准教授) ・「SIA：東京2020オリンピック・パラリンピック」 柳憲一郎 (学会常務理事/明治大学法学部教授) ・「都市計画の視点から見る湾岸未来都市の土地利用」 嘉名光市 (大阪市立大学大学院教授) ・「都市内湾域の生態系活用 -目指す姿を数理モデルで考える-」 相馬明郎 (大阪市立大学大学院教授) ～休憩10分～ 【15:30～15:40】 (3) パネルディスカッション 【15:40～16:40】60分 コーディネーター 重松孝昌(大会実行委員長/大阪市立大学) 登壇者：上記報告者4名と若者代表 (佐々木裕也：Honaikude大阪府立大学代表)	
	16:40-16:45 休憩	
	16:45-17:25 奨励賞受賞記念講演 (大会議室SA & L) 研究部門受賞者 吉田毅郎 (東京大学生産技術研究所) 「潮流・海流発電の影響評価に関する研究や潮流と魚類生態の関係に関する研究等の業績」 実務部門受賞者 藤井清香 (いであ㈱) 「海域の環境改善に関する検討や市民向け環境教育等に関する業績」	
	17:25-17:35 最優秀ポスター賞表彰 (大会議室SA & L)	
	18:00-19:30 懇親会 (学術情報総合センター 1F カフェレストラン「野のはなハウス」)	

大会2日目 (9月8日、日曜日)

午前	8:30- 大会受付 (10階ロビー)	
	9:00-10:00 (大会議室SA) 一般研究発表 セッション5 「自然環境②」 3件	9:00-10:00- (大会議室L) 一般研究発表 セッション7 「再生可能エネルギー②」 3件
	10:10-11:10 (大会議室SA) 一般研究発表 セッション6 「自然環境③」 3件	10:10-11:10 (大会議室L) 一般研究発表 セッション8 「生活環境」 3件
午後	11:30- エクスカーション (出発) ・大阪南港野鳥園 ・2025大阪・関西万博開催地・夢洲視察 ・津波高潮ステーション 16:00頃 JR新大阪駅 (希望者がいれば) 16:30頃 大阪伊丹空港 (希望者がいれば)	



会場 (大阪市立大学学術情報総合センター10階) 概略図

【プログラム詳細】**一般研究発表プログラム（注：肩書きは報告者のみ、発表時間+質疑は各20分）**

大会1日目【9月7日（土）】

第一会場 大会議室SA

セッション1「政策・制度」

座長：石野耕也(学会理事)

(座長補佐：錦澤滋雄)

1	9:40-10:00	「気候変動影響と環境アセスメントの課題」 ○田中充（法政大学）、小河誠、馬場健司、児玉元純
2	10:00-10:20	「日本における生物多様性オフセットの動向」 ○川村昂史（東京都市大学）、城木毅、田中章
3	10:20-10:40	「環境アセスメントにおけるティアリングの動向」 ○後藤圭輔（東京都市大学）、田中章
4	10:40-11:00	「環境アセスメント技術による事業リスクの適応可能性に関する研究」 ○古松正博（パシフィックコンサルタンツ(株)）

セッション2「自然環境①」

座長：田中章(学会常務理事)

(座長補佐：伊東英幸)

1	11:10-11:30	「東京都の事後調査報告書の陸上植物の記載からみた事後調査等の課題」 ○本間花乃子（東京工業大学）、藤倉まなみ
2	11:30-11:50	「環境影響評価手続きにおける環境DNA技術活用の可能性に関する研究」 ○塘研（(一社)日本環境アセスメント協会/いであ(株)）、井出功一、北條優、渡邊千佳子、小野寺明、加藤靖広、中野将和
3	11:50-12:10	「干潟域におけるコメツキガニの生態把握に関する調査手法」 ○長谷川一幸（(公財)海洋生物環境研究所）、稲富直彦、中村倫明、落合実

大会1日目【9月7日（土）】

第二会場 大会議室L

セッション3「国際」

座長：村山武彦(学会常務理事)

(座長補佐：坂本万純)

1	9:40-10:00	「諸外国の海洋石油・天然ガス開発に係る環境影響評価について」 北川瑞己、中島茂、西野卓也、○那須卓（(一財)エンジニアリング協会）
2	10:00-10:20	「都市再開発と環境アセスメント」 ○蔡玉娟（台湾国立台北大学）
3	10:20-10:40	「洋上風力発電所に係る環境影響評価の取組 ―オランダ国の取組を中心に―」 ○細川岳洋（アジア航測(株)）、會田義明
4	10:40-11:00	「ワークショップ『大阪万博・市民からのアセスメント』報告」 ○傘木宏夫（NPO地域づくり工房）、磯上慶子、加賀まゆみ、野田奏栄

セッション4「再生可能エネルギー②」 座長：梶谷修(学会常務理事)

(座長補佐：長岡篤)

1	11:10-11:30	「再エネ海域利用法と風力発電に係るゾーニングの取組について」 ○坂本万純（環境省）、鈴木清彦、會田義明
2	11:30-11:50	「太陽光発電事業についての環境影響評価の基本的考え方」 ○會田義明（環境省）、小野翔太郎
3	11:50-12:10	「環境アセスメントにおける四季変化による風力発電施設の景観印象評価」 ○荒井歩（東京農業大学）、酒井玲子

大会2日目【9月8日（日）】

第一会場 大会議室SA

セッション5「自然環境②」

座長：石川公敏(学会理事)

(座長補佐：荒井歩)

1	9:00-9:20	「ホットスポットとしての夢洲と大阪湾における自然再生の取り組み」 ○傘木宏夫（NPO地域づくり工房）、磯上慶子、加賀まゆみ、野田奏栄
2	9:20-9:40	「海外の空港建設に伴う生物多様性オフセットの事例研究－ヒースロー空港を例にと って－」 ○阿部旭秀（東京都市大学）、横田陸、田中章
3	9:40-10:00	「海外の空港建設に伴う生物多様性オフセットの事例研究－オーストラリアのサンシ ャインコースト空港において－」 ○井上結貴（東京都市大学）、陳純、田中章

セッション6「自然環境③」

座長：宮下一明(学会常務理事)

(座長補佐：矢代幸太郎)

1	10:10-10:30	「海外の空港建設に伴う生物多様性オフセットの事例研究－アメリカのジュノー国際 空港を例にとって－」 ○浅見友里（東京都市大学）、福島溪太、田中章
2	10:30-10:50	「東京都心の建物外構で実施したシマトネリコの繁殖状況調査」 ○小松裕幸（清水建設株）、伴武彦、松榮宏幸、吾田鉄司
3	10:50-11:10	「音声解析技術の活用による生物の生息調査手法」 ○斎藤睦巳（富士通九州ネットワークテクノロジーズ株）、田尻浩伸、松本潤慶

大会2日目【9月8日（日）】

第二会場 大会議室L

セッション7「再生可能エネルギー②」

座長：上杉哲郎(学会常務理事)

(座長補佐：會田義明)

1	9:00-9:20	「地熱発電所の環境アセスメントにおける硫化水素の影響評価の現状と課題」 ○岡田真秀（東北緑化環境保全株）、門脇忠夫、木村啓、菅野洋、
2	9:20-9:40	「再エネ終了後等事業終了後の土地利用変化等に係る環境影響評価技術に係る一考察」 ○尾原正敬（(一社)日本環境アセスメント協会/株千代田コンサルタント）、安藤伸 彦、上田夏希、内山和也、小野寺一剛、
3	9:40-10:00	「再生可能エネルギー発電施設に係る条例の施行状況について」 ○門屋真希子（芝浦工業大学）

セッション8「生活環境」

座長：佐藤律子(学会理事)

(座長補佐：長島匠)

1	10:10-10:30	「ドローンを活用した上層気象調査の精度検証」 ○福池晃（ムラタ計測器サービス株）、池上匡、永島右光、設楽丘、河合徹
2	10:30-10:50	「環境影響評価で環境音や風車音、残留騒音を統計的に正しく判定する方法－環境ア セスメントに統計的な確率評価を採用する試み－」 ○内田英夫（エヌエス環境株）、瀬口純、吉田大輔
3	10:50-11:10	「大気常時監視における年平均値と日平均値の年間98%値（又は2%除外値）の比較と 考察」 ○渡辺明日美（日本環境衛生センター）、池本久利

ポスターセッション（注：肩書きは主報告者のみ）

【コアタイム 9月7日（土）12:15-12:45】

大会議室SB

※「若手部門」は優秀ポスター賞の候補となります。

1	「北海道の猛禽類（オジロワシ）の分布・生態特性」 ○山田芳樹（㈱ドーコン） 藤巻裕蔵、天野拓郎、石原英昭、石山浩一、一北民郎、大坪二郎、紀國 聡、工藤晃央、小林 功、瀧本育克、玉田克巳、玉田祐介、土屋 尚、平井克亥、山口珠輝	一般
2	「国道 44 号の糸魚沢アーチカルバートにおけるエゾシカの利用実態分析」 ○伊東英幸（日本大学）、山崎敦史、藤井敬宏	一般
3	「太陽光発電事業における環境紛争発生要因に関する研究」 ○高山 健（東京工業大学）、錦澤 滋雄、村山 武彦、長岡 篤	若手
4	「UAV-SfM技術を活用した森林の炭素固定量推計に関する研究」 ○高木洋明（名古屋大学）、林 希一郎、町村 尚、杉田 暁	若手
5	「風力発電所建設で周辺植生にどのような変化があったか」 ○浜口寛（㈱環境総合テクノス）、橋川さゆり	若手

技術展示

大会議室SB

1	「水域環境調査等に係る水中可視化技術の紹介」	いであ㈱
2	「景観や生物群の3D表現を活用した資料作成」	㈱東京久栄
3	「環境DNA解析サービスのご案内」	㈱生物技研
4	「大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センターの取組」	大阪府立環境農林水産総合研究所
5	「ヒアリ対策 「捕らずに撮る」新モニタリング手法の開発」	環境省 近畿地方環境事務所
6	「大阪市環境局の取り組み」	大阪市 環境局
7	「大阪府の環境施策紹介（温暖化の適応計画、プラスチック削減の取組み）」	大阪府 環境農林水産部
8	「堺市の環境施策について（堺市レッドリスト・堺市外来種ブラックリスト）」	堺市 環境局

大会会場のご案内

■交通についてのご案内（公共交通機関をご利用願います）

最寄り駅からのアクセス

【JR 阪和線】「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東口すぐ

【地下鉄御堂筋線】「あびこ駅」下車、③、④号出口より南西へ徒歩約 15 分

■大阪市立大学杉本キャンパスの位置・構内図

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138



■宿泊についてのご案内（事務局からのあっせんはありません）

大阪市内にホテル等が多数あります。

大会実行委員会主催シンポジウム 「湾岸未来都市のあるべき環境像を模索する」

■企画趣旨

都市環境への負荷を低減し、地域資源を持続可能な形で活用することにより、都市を基軸とした地域レベルで「脱炭素化」、「資源循環」及び「自然共生」に統合的に取り組み、SDGsを念頭にローカルなところからグローバルへと繋げていくことで、将来にわたって質の高い良好な環境を実現することが、人類共通の今日的課題となっている。

このようななか、2025年5月から半年間「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに「2025年大阪・関西万博」が大阪湾奥部の埋め立て地(夢洲)で計画されている。本公開シンポジウムでは、万国博覧会ならびにその後の土地利用を湾岸都市の未来を創る環境・社会実験と位置づけ、都市河口域のベイエリア開発におけるポジティブアセスメントの課題を整理し、シンポジウム参加者が環境・社会・経済的な持続可能性(SGDs)を有する湾岸域の環境像について幅広く、多面的に議論する機会とする。

■日 時

2019年9月7日(土) 13:45~16:40

■場 所

大阪市立大学杉本キャンパス 学術情報総合センター10階

■進 行

・司会進行： 宮下 一明(学会大会担当理事/榊東京久栄)

1) 趣旨説明

重松孝昌(大会実行委員長/大阪市立大学大学院教授)

2) 報告(各20分)

(1) 「SGDsの背景、理念と環境アセスメント」

川久保 俊(法政大学デザイン工学部准教授)

(2) 「SIA：東京2020オリンピック・パラリンピック」

柳 憲一郎(学会常務理事/明治大学法学部教授)

(3) 「都市計画の視点から見る湾岸未来都市の土地利用」

嘉名 光市(大阪市立大学大学院教授)

(4) 「都市内湾域の生態系活用 ー目指す姿を数理モデルで考えるー」

相馬 明郎(大阪市立大学大学院教授)

～休憩10分～

3) パネルディスカッション

コーディネーター 重松 孝昌(大会実行委員長/大阪市立大学大学院教授)

登壇者：登壇者：上記報告者4名と若者代表(佐々木 裕也：HonaiKude大阪府立大学代表)

環境アセスメント 2019 年度大会

エクスカージョン

将来の湾岸都市像を描くにあたり、現状の臨海都市の一端を垣間見るとともに、環境及び防災面における人間の営みを顧みる企画として、2019年度大会のエクスカージョンを位置づける。

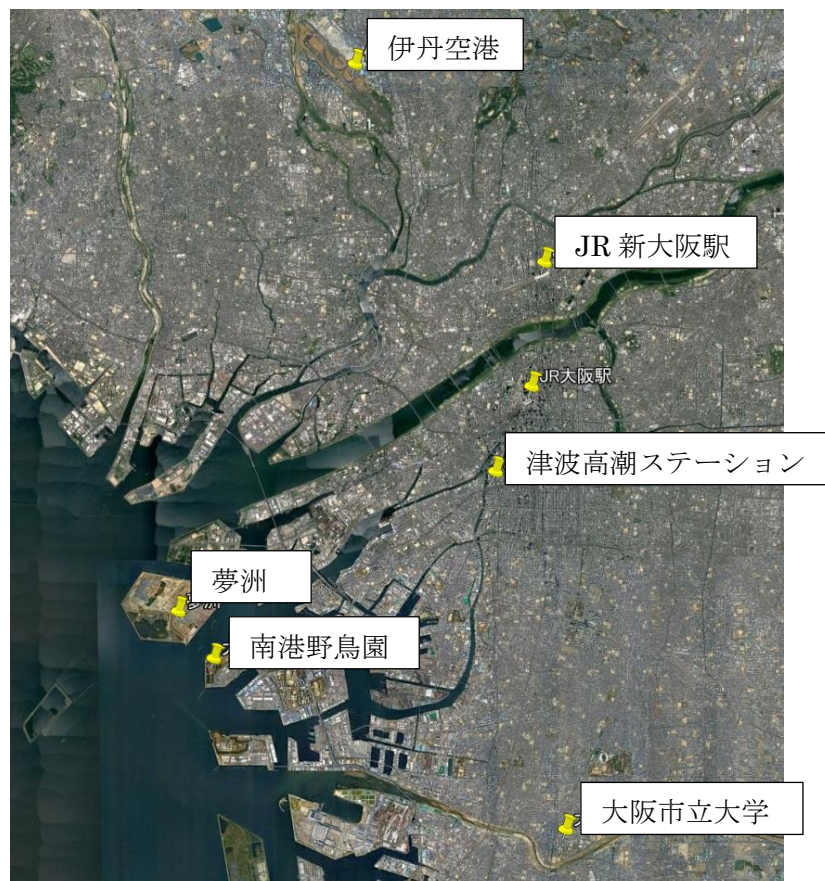
■ 視察サイト

- ・大阪南港野鳥園（埋立造成地を初めて海浜公園として整備した事例）
- ・大阪人工島・夢洲地区（2025大阪・関西万博開催地）
- ・津波高潮ステーション（かつての高潮や、地震・津波発生時の対応が学べる学習館）

■ おおよそのタイムスケジュール

- 11:30 バスで大阪市立大学出発
大阪南港野鳥園
昼食 および 南港野鳥園の経緯と現状の説明
夢洲入場
車で周遊のみ
夢洲の建設経緯説明／万博会場予定地・ソーラーハーベスト・IR 予定地視察
津波高潮ステーション（舞洲経由）
大阪におけるかつての高潮・地震・津波被害の説明
- 16:00 頃 JR 新大阪駅（希望者がいれば）
- 16:30 頃 大阪伊丹空港（希望者がいれば）

- 募集人員：20名（参加費：2,000円、別途、お弁当代700円程度をいただきます）



【参加募集】環境アセスメント学会 2019年度 第18回大会 プレイベント 環境省主催・環境アセスメント学会後援シンポジウム 太陽光発電事業にかかる環境影響評価について

■開催趣旨

2018年に閣議決定されたエネルギー基本計画において、再生可能エネルギーについては、長期安定的な主力電源として持続可能なものとなるよう、円滑な大量導入に向けた取組を引き続き積極的に推進していくこととされているところです。その一方で、大規模な太陽光発電事業では、事業の実施に伴う土砂流出や濁水の発生、景観への影響などの問題が生じている事例があります。

本シンポジウムでは、太陽光発電事業を環境影響評価の対象とするために、環境影響評価法施行令の一部を改正したことをはじめとする国の取組について紹介するとともに、自治体や有識者、事業者などから太陽光発電事業の環境影響評価に関する現状と課題等について情報提供いただき、地域と共生した再生可能エネルギー、特に太陽光発電の円滑な導入に向けた環境影響評価の効果的な在り方についての議論を行います。

■開催概要

名 称：太陽光発電事業にかかる環境影響評価について

日 時：令和元年9月6日(金) 14:00～17:00 (13:30 開場)

※環境アセスメント学会年次大会(同9月7日(土)～8日(日))の前日

場 所：大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター 10階大会議室
(大阪市住吉区杉本 3-3-138)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access>

主催等：主催 環境省

後援 環境アセスメント学会

参加費：無料

■プログラム(予定)

(1) 開会挨拶

鮎川 智一 (環境省大臣官房環境影響評価課長)

(2) 基調講演

- ・(仮)太陽光発電施設等に係る環境影響評価の基本的考え方について

浅野 直人 (福岡大学 名誉教授)

(3) 話題提供

- ①(仮)三重県における太陽光発電の円滑な導入にむけた現状と課題について

三重県 環境生活部 地球温暖化対策課

- ②(仮)静岡県における太陽光発電の円滑な導入にむけた現状と課題について

静岡県 暮らし・環境部環境局 生活環境課

- ③(仮)太陽光発電の自主的な環境アセスメントガイドラインについて

錦澤 滋雄 (東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授)

(4) パネルディスカッション

- ①(仮)太陽光発電の円滑な導入にむけた事業者としての取組

鈴木 聡 (一般社団法人 太陽光発電協会 事務局長)

- ②(仮)太陽光発電に係る環境影響評価の課題

尾原 正敬 ((株)千代田コンサルタント 社会環境事業部)

③パネルディスカッション

- ・テーマ：「太陽光発電の円滑な導入にむけた環境影響評価の効果的な在り方について」
- ・参加者：コーディネーター 田中 充（法政大学社会学部 教授）
パネリスト 錦澤 滋雄（東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授）
鮎川 智一（環境省大臣官房環境影響評価課長）
三重県 環境生活部 地球温暖化対策課
鈴木 聡（一般社団法人 太陽光発電協会 事務局長）
尾原 正敬（(株) 千代田コンサルタント 社会環境事業部）

■申込み

（申込み方法）

- ・電子メール又はファックスにより、件名に「環境省主催シンポジウム（9月6日）参加希望」と明記し、お名前（フリガナ）、電話番号、電子メールアドレス又はファックス番号、所属を記載して、下記シンポジウム事務局にお申込みください。
- ・複数名のお申込みの場合も、お一人ずつお申込みください。
- ・シンポジウム事務局からの返信メールまたは返信ファックスを参加券といたします。参加券は当日ご持参下さい（電子メールでお申込みいただいた方は、返信メールを印刷の上、ご持参下さい）。

（申込み期限）

令和元年8月30日（金）12：00 必着

※なお、余席がある場合には、当日会場にて参加登録を受け付けます。

【シンポジウム事務局】

一般社団法人 日本環境アセスメント協会（岡本、後藤）

TEL：03-3230-3583 FAX: 03-3230-3876 E-mail: jeas03@jeas.org

■その他

クールビズ実施期間中ですので軽装でお越しください。

※本シンポジウムの詳しい開催時間や内容、申込等については、環境省の報道発表をご確認下さい。

環境アセスメント・セミナーin札幌 環境アセスメント学会主催第8回全国キャラバン講習会のご案内

環境アセスメント学会では、持続可能な社会などの望ましい環境の創造に貢献するシステムである環境アセスメントを理解いただくことを目的に、学会員の講演と参加者との意見交換の場としての「全国キャラバン講習会」を開催しています。日々学会や研究に接する機会が少ない首都圏以外の都市において、一般市民、環境を専攻している学生や環境を研究している学識者、環境影響評価審議会委員、環境行政担当職員、コンサルタント、NPOの方々などを対象として実施します。

今回のキャラバン講習会は、札幌およびその周辺地域を対象に開催いたします。下記のとおり、冒頭に本学会が編集・出版した環境アセスメント制度の紹介を目的とした「環境アセスメント学入門」（恒星社厚生閣、2019年）を用いて、環境アセスメント入門について講演します。次に、環境省からわが国の環境アセスメントの動向についての紹介があります。さらに、行政関係者からの講演があります。また、道内のコンサルタントから環境アセスメントに係る取組状況についてご紹介いただきます。これらの講演の後、参加者で質疑・応答、意見交換の時間を持ちます。

今回の講習会は、学会員のみならず一般の方々にも広く公開しております。環境アセスメント制度の最新の動きを学ぶこの機会に、様々な立場からの多くの方々のご参加を歓迎いたします。

記

○日 時 2019年11月6日（水） 14:00～18:00

○会 場 札幌男女共同参画センター4階 大研修室（札幌エルプラザ内）

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 <http://www.danjyo.sl-plaza.jp/access/>

○プログラム

	時間	分	講 義 名	講 師
	13:30～		受付開始	
1	14:00～	15	学会あいさつ	環境アセスメント学会会長 田中充
2			学会案内	環境アセスメント学会事務局
3	14:15～	45	講演1「環境アセスメント学入門」 ～持続可能な環境・社会に役立てる！～	環境アセスメント学会理事 上杉哲郎
4	15:00～	45	講演2「環境アセスメントの意義と最近の動向」	環境省大臣官房環境影響評価課課長 鮎川智一
	15:45～	10	休 憩	
5	15:55～	35	講演3「未定」(行政関係者からの講演)	未定
6	16:30～	15	北海道内アセス実施機関の紹介(その1)	未定
7	16:45～	15	北海道内アセス実施機関の紹介(その2)	未定
	17:00～	10	休 憩	
8	17:10～	50	意見交換	コーディネーター 未定

○参加費 無料（学会会員であることを問いません。どなたでも参加できます。）

○参加申込 2019年10月31日（木）までに、学会事務局メール（office@jsia.net）までメールにてお申し込み下さい。お申し込みの際は、件名に『「環境アセスメント・セミナーin札幌」参加希望』と明記し、お名前（フリガナ）、電話番号、電子メールアドレス、ご所属、懇親会への参加の有無を記載して、お申込みください。複数名のお申込みの場合も、お一人ずつお申込みください。お申し込みに対して、定員（80名）を超える場合以外には、返信を特にいたしませんのでご了承下さい。

※なお、余席がある場合には、当日会場にて参加登録を受け付けます。

○主 催 環境アセスメント学会

○共 催 （一社）日本環境アセスメント協会、公益財団法人北海道環境財団（予定）

○後 援 環境省、北海道、札幌市、他（以上予定）

○懇親会 セミナー終了後に予定しております。

【キャラバン会場案内図】



【アクセス】

J R札幌駅北口より徒歩3分
地下鉄南北線さっぽろ駅より徒歩7分
地下鉄東豊線さっぽろ駅より徒歩10分
(札幌駅北口地下歩道12番出口横から建物の中まで直通)

※駐車場を用意できませんので、徒歩・公共交通機関でお越しください。